

学校長ご挨拶

多くの優秀な卒業生を送り出してきた実績と信頼

本校は1937年に大阪警察病院とともに附属看護婦養成所として創設し、その後発展し1998年に現在の3年課程となりました。創設以来3,070名が巣立ち、卒業生の活躍は多岐にわたっています。

日本では世界に例のない少子・超高齢・多死社会を迎え、看護職は多様かつ複雑な患者の医療・生活ニーズに寄り添い、多職種と連携しながら患者のケアを担う中心的かつ重要な役割が求められています。

本校ではそれらの役割を果たすために基盤となる看護実践能力を養うカリキュラムを整え、母体である大阪警察病院を中心とした臨地実習で、さらに実践的な教育を実施しています。さらに、「人を思いやり慈しむ”仁”の心」について、看護実践を通じて考え悩み、自らも人として成長できる過程を大切にしています。

みなさんの「次の時代を担う看護師を目指す」という夢の実現に向けて情熱をもち、ともに学べることを願っています。

次の時代を担う看護師を目指そう!



社会医療法人警和会理事長
大阪警察病院・第二大阪警察病院院長
大阪警察病院看護専門学校
澤 芳樹 学校長

キラキラ輝く未来に向けて
共に学びましょう!

副学校長ご挨拶

看護のこころを育み、
現場で判断力と技術力を高めながら夢の実現を!



大阪警察病院看護専門学校
井ノ上 ルミ子 副学校長

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大は、あらためて私たちに、当たり前前の日常生活が最も貴重で人生を豊かにする時間であることを教えてくれました。そして、今まで以上に日常生活を意識しながら大切に過ごすようになったのではないのでしょうか。

看護の対象である患者様もまた、やまいによって当たり前前の生活に大きな影響を受けている一人です。看護師に求められているのは、患者様の痛みや苦しみに寄り添える心優しい看護のこころです。そして、どうすれば一人ひとりの健康と、日常生活を取り戻すことができるかを考え、実践できる能力です。

そこで、本校では設置主体である社会医療法人警和会と連携し、看護のこころを大切に育みながら、判断力と技術力の修得を目指した教育カリキュラムを準備しています。

さらに、社会医療法人警和会と共に、学生の皆さん一人ひとりの目標と理想に向かえるよう自分自身のキャリアをデザインする支援も行っています。

学生の皆さんが、キラキラ輝く未来の看護師になることを教職員一同が応援します。

本校で、皆さんの夢を叶えてみませんか!



本学の歩み

大阪警察病院看護専門学校の沿革

- 昭和12年10月 大阪警察病院附属看護婦養成所を院内に開設
- 昭和28年4月 大阪警察病院附属看護婦養成所として再発足
- 昭和31年4月 大阪警察病院附属看護学院(名称変更)
- 昭和44年4月 大阪警察病院附属高等看護学院として発足
- 昭和61年4月 大阪警察病院附属看護専門学校として発足(学校教育法上の専修学校の認可)
- 昭和62年9月 新病院の建設に伴い仮校舎へ移転
- 平成10年3月 仮校舎からの新校舎へ移転(大阪市阿倍野区)
- 平成10年4月 大阪警察病院看護専門学校3年課程として発足
- 平成19年9月 創立70周年
- 平成20年4月 1学年定員80名に増員
- 平成25年4月 設置主体名称変更(一般財団法人大阪府警察協会)
- 令和4年4月 設置主体変更(社会医療法人警和会)

年間の主な行事

- 4月 入学式・始業
- 7月 七夕
- 8月 夏期休暇・8月末始業
- 9月 後期オリエンテーション
- 10月 防災訓練
- ハロウィン
- 11月 戴帽式
- 12月 冬期休暇
- 1月 始業
- 2月 看護師国家試験
- 3月 卒業式
- 春期休暇



学習・教育環境

教育・臨床の相互活用

医療の提供



卒業生の活躍

医療現場で活躍する
卒業生のご紹介します。



床櫻 嘉裕さん・とこざくら よしひろ
(看護師 20年目 / 副師長)
大阪警察病院災害派遣医療チーム (警病DMAT) 所属)

ずっと建築関係の仕事をめざして大学進学を考えていましたが、その当時、建設業が大不況になり、姉が看護学校に通っていた影響もあって、高校3年生の時に看護師の道に方向転換しました。推薦入学で男性を受け入れてくれる看護学校が非常に少ない中、この学校に推薦入学の希望を出して合格しました。

学生時代はいろいろ迷ったり悩んだりしましたが、そのたびに先生方が親身になって相談に乗ってくださり、乗り越えることができました。この学校に入学して、先生方や友人に支えられていなければ、自分は看護師になれなかったと思います。

救急医療に携わることを希望してずっとERセンターなどに所属していました。大阪警察病院に就職して5年目に、後輩の指導をすることになって、人材教育の楽しさを知りました。救急医療が嫌いだという後輩も、指導していくうちに、ドクターヘリに乗って頑張るようになる...そんな姿をいくつも見られるのは、指導者としての幸せだと思います。

今振り返ってみて、本当にこの学校に進学して、看護師になって良かったと感じています。看護師になってからも、自分の希望がすべて通るわけではありませんが、希望する部署で看護ができてなくても看護は同じ看護...と割り切って、与えられた場所で患者さんが必要としている看護を届けようと努力を重ねていくことが、自分の力として養われ、成長していきます。

自分は今、副師長をしていますが、成長していく姿を、恩師の皆さんに見守っていただけることも、嬉しいですし、恩返しになっているかな...と思います。それができるのも、専門学校から病院がひとつながりになっているこの学校の魅力だと思います。

福島 幸子さん
ふくしま さちこ (看護師 18年目 / 副師長)

高校生と中学生の息子2人を育てながら看護師を続けてきました。大阪警察病院に就職して3年間は病棟勤務でしたが、子どもが生まれてからは働きやすいように配慮していただき、土日もお休みで日勤帯のみで働ける外来勤務をしています。まわりに子育ての苦労を知っている先輩も多く、子どもの体調が悪い時などは早退させてくださったり、子育てしやすいシフトを組み立ててくださったりして、いつもサポートしてもらいました。

この学校を選んだ理由は大阪出身で看護師をめざしていくつかの看護学校を見学・受験した中で、一番印象が良かったからです。その直感が当たって、先生方がとても親身になって、悩みを打ち明けると一緒に涙を流してくれたり、国家試験前には叱咤激励してくれて、合格したときには一緒にうれし涙喜んでくださったり...とても楽しく有意義な学生生活を送りました。そして何でも分かり合える「一生モノ」の友達もたくさんできて、就職後も別れ別れになることなく、ずっと一緒に働けることが何より心強いです。



八尾 幸子さん・やお さちこ (看護師 23年目 / 師長)

母が看護師だったこともあり、自然と医療の世界に興味は持っていました。高校生のときに大阪警察病院の「看護師一日体験」というイベントに参加したときに、実際に働いている看護師さんの姿を見て、直感的に「ここだ!」と思って、大阪警察病院看護専門学校に入学しました。学生時代はキャンプやレクリエーションもたくさんあり、看護という道、目標に向かう仲間として和気あいあいと過ごせました。同期はほぼ全員が大阪警察病院に就職したので、23年間の看護師人生をみんなで乗り越えてきたという仲間意識があり、とてもいい友人たちです。

看護師になってから、手術部以外にも、呼吸器外科、内科、泌尿器科の病棟、糖尿病内科、小児科、混合病棟、ICUなどを経験して、それぞれの診療科での看護の大切さを学んだことが、手術部での看護にすごく役立っています。2023年4月から手術部の師長に就任したので、「手術が病気の終わりではない」という気持ちを後輩たちに伝えて、手術室での看護の大切さを教育し、患者さんに喜ばれる素敵な看護師に成長してもらいたいと思います。



西川 渚さん・にしかわ なぎさ (看護師 1年目)

大学卒業後に製薬会社のMR (医薬品情報担当者) として5年間働きましたが、出産のときに助産師さんの仕事を見て「助産師さんってすごい!」と感動して、自分も直接的に医療に関わってみたいと思い、子どもが1歳のときに猛勉強して受験しこの学校に入学しました。

同級生とは10歳近く年齢が離れているので、友達できるかな...と少し不安でしたが、みんなやさしく世代の違う私を受け入れてくれて、とても楽しい3年間でした。製薬会社のMR時代に感じていた「直接的に医療に関わりたい、患者さんの役に立ちたい」という気持ちは、看護学校で出会った恩師や先輩たちなど、尊敬できる看護師の先輩に出会うたびに夢が膨らんで、それが学習意欲を高め、自分も先輩たちのような看護師になりたいというモチベーションになりました。小さい子どもを育てながら国家試験の準備をするのは大変でしたが、逆に子どもが寝てからの短時間で勉強しようという気合や集中力が高まって、うまく両立できました。

今は手術部で勤務しており、覚えることが多くで大変ですが、プリセクター制度の下で、一対一で先輩が丁寧に指導して下さるのがとても心強いです。手術部は手術時間がきちんと決まっているので、スケジュールを組み立てやすく、子どもの体調が悪いときなどは、周囲の先輩たちがサポートして下さり、本当に助かっています。

セカンドキャリアを積みたい、何歳からでも看護の道をめざしたいと思ったら、ぜひこの学校を受験してください。





中山 真由美さん・なかやま まゆみ (看護師35年目/副部長)

この学校に進学した理由は、福岡県出身で家を出て一人暮らしをしながら学校に通って来たからです。「警察が名称についた学校なので大丈夫！」という説得に厳格な父も渋々と許してくれて学生寮に入寮し、全国から看護師をめざして集まった仲間とすぐに打ち解けて友達になりました。学生生活を共に過ごした仲間とは、今でも仲良しで特別な存在です。

大阪警察病院に就職してからは、消化器内科病棟を10年、呼吸器内科病棟を3年、整形外科病棟を3年、呼吸器外科病棟を9年、外科系の混合病棟を4年、そして現在のERセンターに5年と、さまざまな診療科を経験して学んだことが、それぞれの職場で役立っています。特にERセンターは病棟では経験できなかった刺激や求められるスキルも多く、勉強になります。若い看護師の皆さんも救急医療に関心が高く、初めは目の前のリアルな救急医療の世界に圧倒されて思うように動けない自分の無力さに落ち込んでしまうケースもありますが、そういう時には先輩たちがしっかりと見守り、声をかけて、夢を見失わないようにサポートしています。

新人教育にも携わってきましたが、看護には自分の誠実さを大切にして、患者さんが何を求めているか感じ取る力を磨き、手を差し伸べられるように常に学び続けることが大切です。常に数ある病院の中から、大阪警察病院を選んでくれた患者さんを大切に思い、きれいな気持ち、誠実な心で接するようにアドバイスしています。

安城 千春さん・やすき ちはる (看護師17年目/副部長・感染管理認定看護師)

保母さんになりたいな…と思っていたのですが、少子高齢社会の中で小児科の看護師になるのいいのでは…と思い、自分が生まれた大阪警察病院の看護専門学校に入学しました。キャンパスライフは、文化祭やキャンプなど、一生思い出に残る行事がたくさんあり、メリハリのある楽しい時間でした。

私は事情があって4年間学校に通ったのですが、そのおかげで同期の知り合いが2倍になり、大阪警察病院に就職してからも、仲間がたくさんいるので安心して働くことができました。就職してからも学校の恩師には、声をかけてもらい、悩みを聞いてもらったり、支えてもらったりして、お世話になっています。やさしい先生方がずっと見守ってくださるのも、心強さにつながっています。

私は感染管理認定看護師の資格を、看護師7年目のときに、先輩の勧めで取得しました。取得して2年後に新型コロナウイルス感染症の大流行が始まって、感染対策の強化や、国や大阪府、大阪市の感染対策とのすり合わせなど、試行錯誤を繰り返しながら、経験を積み、感染対策のノウハウを学んでいくことができました。コロナ禍が収まった今も、もっと感染制御分野の看護について学びたい、技術を習得したいという気持ちを強く持ち続けています。



岡島 郁子さん・おかじま いくこ (看護師16年目)

私が鳥取県在住で大阪に行って勉強したかったことが、この学校を選んだ理由として大きかったです。入学して寮に入ってみると、天王寺の駅がすぐ近くにあり、交通アクセスも良く、帰省するのにも便利に助かりました。

寮生活は同期生も3、4人いたので一緒にご飯を食べたりして、とても楽しかったです。学校生活では1学年下の後輩たちとキャンプに行ったこと、看護実習のことなどが思い出として残っています。

最新の医療が学べ、何より指導する先生方がとても熱心なのが、この学校の魅力です。さらに同期生のほとんどが大阪警察病院に就職するので、就職後もスムーズに職場に溶け込めて働きやすい環境です。

2023年4月からは、学生の実習指導をすることになり、今まで積み上げてきたキャリアを生かして、学生の声に耳を傾けて、意見を取り入れながらよりよい実習になるように心がけようと思います。特に実習では授業で学んだことと実践にギャップを感じてしまう学生も多いので、そのギャップを埋めて、看護という仕事に魅力を感じてもらえるように努めます。

若林 有希さん・わかばやし ゆうき (看護師13年目)

現在、小学生と2歳の子どもの子育てをしながら勤務しています。2022年4月に産休が明けて復帰しました。循環器の一般病棟に勤務していますが、まわり子育て経験者も多く、同期も多いので、子育てとのワークバランスが保てるようにと周囲が配慮してくださって、時間管理、看護技術、精神面などをサポートしてもらって、仕事と子育てを両立しています。そろそろ自分が一番年長になりつつあるので、後輩をサポートしながら成長する様子を楽してみたいと思います。

私がこの学校を選んだのは、敷地内に寮があって通学の時間がなく、その時間を有効に使えるからです。初めての一人暮らしも、先生が優しく寄り添ってくださり、何から何までお世話になりました。寮暮らしの先輩からは看護実習の様子を教えてもらったりして、新しい環境に馴染めるような情報もたくさんいただきました。振り返ってみると、こうした先輩、後輩、同期の仲間と囲まれながら安心して働ける環境なので、ママさん看護師を続けることができていると感謝の気持ちでいっぱいになります。



森脇 和成さん・もりわき かずなり (看護師12年目/クリティカルケア認定看護師)

看護師を職業に選んだのは、両親が看護師だった影響が大きかったと思います。自宅が泉州で通学が可能だったことと、両親のアドバイスでこの学校を選びました。

キャンパスライフで印象に残っているのは、当時の先生が教えてくれた「看護は実践する科学」という言葉とその授業の内容です。今でも仕事をしながら「うん、先生の言ったとおりだ!」とうなずき、きちんとしたエビデンスに基づいた看護を実践し、経験や勘(かん)を科学的に分析して仲間と共有し、患者さんのケアやPDCAサイクルを効率的に回すように心がけています。

看護師になってみて、本当にやりがいのある仕事だと常に実感しています。勤務している大阪警察病院では、最先端の治療を行っており、看護師としてその治療に介入できることが自分の成長にもつながります。2022年にクリティカルケア認定看護師の資格を取得しましたので、これからはクリティカルケア領域の看護の楽しさを後輩の皆さんに教えていきたいと思っています。

* PDCA (Plan-Do-Check-Act cycle) サイクル: Plan (計画)、Do (実行)、Check (測定・評価)、Action (対策・改善)のプロセスを循環させ、マネジメントの品質を高めようという考え方。



新しい文化やアミューズメントを常に発信し続ける大阪サウスエリアの拠点、天王寺。その駅前、デパートやホテルなどが立ち並ぶ都市空間の一角に、本校のキャンパスがあります。開放感あふれる大きな窓の向こうには、充実の3年間で…。”いのちのプロ”を育てるにふさわしいフレッシュな空間で、あなたの夢をスタートさせましょう。

学ぶ



4月 入学式・始業
学校玄関前の桜が満開になる4月、看護学生としての決意を秘め夢への一歩を踏み出します。

定期健康診断と予防接種
病気で苦しむ人々のケアする看護師の基本は、まず自己の健康管理ができることです。また、将来医療に携わるものとして、感染予防対策などのシステムが充実しています。

入学時オリエンテーション
高校までとは違う授業や学生生活のしぐさを丁寧にオリエンテーションします。

3学年レクリエーション・交流会
レクリエーション・交流会委員を中心に学生が主体的に計画します。新入生は先輩学生との親睦を深めるチャンス!



7月 七夕
1Fエントランスに七夕の笹を設置します。七夕の短冊に一人一人の願いを込めています。

7~8月 夏期休暇・8月末始業

楽しむ



10月 防災訓練
日頃から防災の心得や安全対策はもちろん、災害時対応の仕方を学ぶことは、命をあずかる看護学生にとって重要な教科外活動のひとつです。

ハロウィン
この1日は学生だけでなく、教職員も仮装してすごします。

11月 戴帽式
あこがれのナースキャップをはじめて頭上にいただく日。おごそかな雰囲気の中で、看護へかける決意と心構えを新たに!



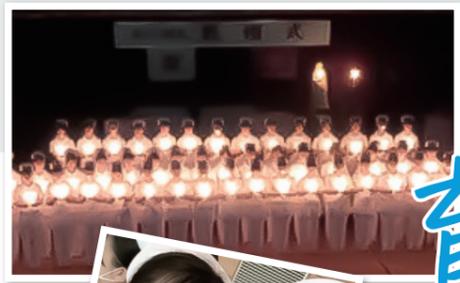
12月 冬期休暇
3年生は、多くの心に残る臨床実習が終了し、最後の冬期休暇に入ります。

1月 始業
3年生は、看護師国家試験に向けてラストスパートです!

2月 看護師国家試験
3年生は看護師国家試験の受験を目前に、最後の難関突破を目指し、いざ、チャレンジ!

3月 卒業式
厳しくても楽しかった3年間に終止符を打つ日。新しい明日へ踏み出し、自ら選んだ「看護の道」に誇りと自信を持って歩んでほしい。

春期休暇
卒業生を送り出し、そして、新入生を迎える準備が始まります。



育む

叶える



在校生Q&A

学ぶことが楽しい！
仲間がいるって嬉しい！

在校生(2023年度3年生)の皆さんに、①志望動機、②キャンパスライフ、③ある平日のスケジュール、④将来の夢、⑤メッセージを聞きました。

東 茜衣さん(20歳)
出身地：大阪
出身校：大阪府立佐野高等学校



- ①国家試験合格率高く、先生方と話しやすく分からないところも聞きやすいこと、そして母体病院での実習ができるので決めました。
- ②授業では周りと意見交換を積極的にいへ、意見に対しても先生方がしっかりと回答してくれるし、たくさん褒めてくれます。休み時間は友達と思いきりはしゃいで、互いにモチベーションを高め合えます。
- ③起床7:30→通学8:00→到着8:50→授業9:00～→お昼ご飯12:10～→授業13:10～16:20→アルバイト17～22→帰宅23:00→課題24:00→就寝2:00
- ④救命救急科で即座に患者さん、周りの状況や指示の状況を把握し自分のやるべきことを適切に行える看護師。
- ⑤先生方も、学生もすごく優しくて過ごしやすいです！初めは不安もありましたが夢に向かって互いに支え合い乗り越えていける仲間ができました。ぜひ大阪警察病院看護専門学校へ！！

江川 萌さん(20歳)
出身地：奈良
出身校：大阪府立狭山高等学校



- ①この学校の先輩や知り合いの方から勧められ、学校の場所や雰囲気が私自身に合っていると感じました。また、母体の病院があるため、将来自分が働く可能性のある場所で実習ができるからです。
- ②他の学校と比べ、他学年との交流が多いところ。教室やトイレが綺麗。駅から近い。
- ③起床→登校8:20→学校到着8:50→授業9:00→ランチ12:10→授業13:10→下校16:20→バイト(飲食店)17:00→帰宅→就寝
- ④知識と技術を高く持ち、「この人なら頼める。」「この人に話したい、相談したい。」と思ってもらえるような、人の心に寄り添える看護師。
- ⑤私自身、受験の時、他の大学や専門学校とすごく悩みましたが、この学校を選んで受験し、入学できて本当に良かったと思っています！それは、同じ職業を目指す友達に出会い、本気で笑う事や、助け合って課題や実習を乗り越えることができたからです。今まで、入学してからテストや実習で「大変」と思った経験を含めても、私は推薦できる学校です。

家村 侑真さん(20歳)
出身地：大阪
出身校：大阪信愛学院高等学校



- ①私は救急志望なので、急性期病院である警察病院に就職したいと考えました。そしてその附属である大阪警察病院看護専門学校への入学を決めました。
- ②グループワークなどがあり自分以外の人と意見交換をすることで新たな発見があります。また図書室の本が充実していることで実習やテスト前など分からないことがあればすぐに調べることができます。
- ③起床→学校到着→授業→ランチ→授業→バイト(飲食店)→勉強(1時間程度)→就寝
- ④救急の道に進み、的確な判断ができ患者さんに寄り添える看護師になる！
- ⑤この学校に進学すれば生徒同士が協力し励まし合うことで実習やテストを乗り越えることができ、先生も話しやすいので、気軽に悩み事や相談をすることができます！ぜひ入学して素敵な仲間を見つけ、一緒に頑張りましょう！

飯田 美那さん(32歳)
出身地：大阪
出身校：美容専門学校(エステティシャン)



- ①母体病院が私が生まれた病院であり、出産も警察病院でしたため、縁のある病院と出会ったためです。また校舎も綺麗であり、通学しやすい立地であったこと、奨学金制度もあったこともあり入学を決めました。
- ②育児との両立が心配ではありましたが、学校での授業をきちんと受けていれば大丈夫でした。ポイントをわかりやすく教えてくれるので、育児との両立も可能でした。
- ③起床→学校到着→授業→お昼休み→授業→育児家事→(テストが近ければ勉強)→就寝
- ④長く看護師を続けて行くことと、たくさん勉強をして認定看護師の資格を取得することです。
- ⑤入学前は、社会人の学生が少ないことが不安で、社会人がたくさん在学している学校へ行った方がいいのかな？と悩みました。でも、大阪警察病院看護専門学校の学生たちも優しく接してくれ、教員たちも何かあれば相談や質問をしやすいような環境の学校です。こんなに楽しく学べるとは思っていませんでした。

井口 結貴さん(20歳)
出身地：奈良
出身校：奈良県立高田高等学校



- ①1.立地がよく、交通の便がよく、駅から学校が近く、とても便利
- ②大阪警察病院が設置している学校であるため、就職がしやすい
- ③校舎が綺麗である
- ④奈良県出身ということもあり、大阪の学校に憧れを持っていたため
- ⑤面白くて個性的なクラスメイトが多い。また、病院で行う実習においてみんなで頑張ろうという協調性や悩んでいるクラスメイトに声をかけてあげるなど優しさも垣間見えるところ。校舎が綺麗で、看護師になるために必要な実習において必要な物品が揃っており、看護師としてのスキルアップが望める国家試験や普段の生活において先生方のサポートが充実しており、安心して学校生活を送ることができます。
- ③起床(6:45)→通学(7:45)→学校到着(8:50)→授業(9:00)→昼食(12:10)→授業(13:10)→授業終了(16:20)→帰宅(17:45)→休憩(19:00)→夕食(19:30)→お風呂(20:00～20:45)→寝る準備(22:00)→テスト勉強や授業の復習(23:00)→リラックスタイム(24:00)→就寝
- ④患者さんの負担を少しでも減らすことができ、適切な看護を行えるような看護師になりたいです。
- ⑤看護師は人の命に対してのサービスを行います。その力を養うために、大阪警察病院看護専門学校で仲間と共に頑張っていく行きましょう！

上田 愛心さん(20歳)
出身地：大阪
出身校：大阪府立高石高等学校



- ①安心して学べる環境が整っているからです。さらに歴史と実績があり確かな看護知識と技術を学べる所に魅力を感じました。また高度な医療を提供している母体病院の大阪警察病院で実習できる点と8割が母体病院に就職できるからです。実際に実習に行った際と同じ設備や器具を学生の頃からみて経験できることで就職後、即戦力として働けると思ったからです。
- ②最寄り駅から徒歩10分くらいで学校に着ける近さが素敵です。また、交流会がよく行われ、先輩方にアドバイスをいただくことができたり、先生方の季節に合わせたコスプレが可愛かったりと、とても賑やかな学校です。そのため、先生方に質問や相談がしやすいです。とても明るく楽しい学校で自分らしくいられる学校です！
- ③起床(7:00)→通学(8:15)→学校到着(8:45)→授業(9:00～)→お昼ご飯(12:10～)→授業(13:10～)→授業終了(16:20)→飲食店バイト(17:00～22:00)→帰宅(22:50)→入浴(23:30)→晩御飯(24:00)→勉強、課題(～1:30)→就寝(2:00)
- ④積極的にいろんなことに挑戦していきたい。できれば海外でのナースもしてみたい。たくさん経験を積み重ねて知識や技術を高めていきたい！患者様にもチーム医療の中でも誰からも頼られ支え合える看護師になりたい。目標は認定看護師や看護師長になること。上を目指して頑張っていきたい。
- ⑤絶対大丈夫！看護師になりたいと想えたことがまず素敵なこと。生きてさえいれば、どんなことにも挑戦できる！だから、看護師になりたいと思えたのなら諦めないで！同じ夢を持つ仲間とならきっと乗り越えられるよ！この大阪警察病院看護専門学校で看護師と一緒に目指しましょう！

高山 愛さん(20歳)
出身地：大阪
出身校：明浄学院高等学校



- ①母体病院の大阪警察病院で実習が行えるため。少人数担当の先生がいるので、悩み事などを相談しやすい環境であると考えたため。
- ②最寄り駅から近いため、雨の日や夏場も通学しやすい。定期的に交流会があり、普段は関わりが少ない先輩方と交流することができるので、テストや実習についての相談に乗って貰ったり、アドバイスがもらえる。
- ③起床(7時)→通学(8時15分)→学校到着(8時45分)→授業(9時～)→お昼ご飯(12時10分～)→授業(13時10分～)→授業終了(16時20分)→帰宅(17時)→晩御飯作り(17時30分～)→晩御飯(18時～)→課題・テスト勉強(18時30分～)→お風呂(20時)→趣味・娯楽(21時～)→就寝(23時)
- ④科学的根拠に基づいた知識と技術で、様々な症状・疾患をもった患者さんを支えることができる看護師
- ⑤テストや実習は大変ですが、同じ夢を持つ仲間となら、乗り越えていけます。みなさんも、大阪警察病院看護専門学校で最高の仲間と共に看護師を目指しましょう

眞田 結愛子さん(26歳)
出身地：大阪
出身校：大学卒業後、医療事務をしていました。



- ①自宅から通いやすく、国家試験の合格率高いため
- ②先生が優しく接しやすい雰囲気、授業が難しくてもクラスメイトと毎日笑って過ごせているところ
- ③起床→学校到着→授業→ランチ→授業→バイト：飲食→勉強→就寝
- ④看護師として働き英語力も身につけて日本国際看護師の資格をとりたいたいと考えてます。
- ⑤先生との距離も近く3年間しっかり学ぶには最適な環境だと思います。他学年とも交流があるのでいろんな話ができるのが魅力です！

山中 咲来さん(20歳)
出身地：大阪
出身校：大阪府立阿倍野高等学校



- ①最寄り駅から近く、自宅からも通いやすい場所にあるため。
- ②年に何度か交流会もあるため先輩とも交流ができ実習や学習方法についてなどのアドバイスをいただくことができる。
- ③起床8時→学校到着8時50分→授業9時～16時半→バイト17時→21時帰宅→晩御飯、入浴、課題など→就寝1時
- ④看護師として働き自立する、技術やコミュニケーションを磨いて効率よく仕事ができ心にも余裕がある看護師を目指したい。
- ⑤初めはテストも多く、実習もあり大変ですが、同じ看護師を目指す仲間と一緒に頑張れば乗り越えていけます。生活に慣れるまでは辛かったりしんどい思いはしますがやっていくうちに慣れ、心も時間も余裕ができます！みなさんもこの学校と一緒に看護師を目指して頑張りましょう^^





施設紹介

エントランスをくぐれば、そこは明るくゆっくりとした知の空間。清潔感に富むインテリア、落ち着いた色彩など、看護専門学校らしい気配りが随所に。教室の外に学生達が気軽に集えるリフレッシュサロンを設けるなど、快適な学びの場を細かく整えています。



図書室

6F

体育館兼講堂

5F

教室5	教室6
リフレッシュサロン	演習室5
演習室6・7	女子更衣室

4F

看護実習室
演習室3・4
在宅看護実習室

3F

教室1	教室2
教室3	教室4
情報科学室	教材・標本室
演習室1・2	男子更衣室

2F

事務・教務室	講師控室
休養室	学校長室
副校長室	印刷室
面接室1・2	会議室
玄関ホール	女子更衣室

1F

女子学生寮のご紹介

看護専門学校に隣接する女子寮は、プライバシーと居住性を高めた部屋設計に加え、談話室やコインランドリーも完備し、セキュリティも万全なのでひととき安心。有意義な寮生活をエンジョイできます。



部屋は快適な一人部屋。キッチン、エアコン、机などの設備も整っています。プライベートを大切にしながら、寮の間とも仲良くなれる、楽しい新生活が待っています。また入寮者は本校学生の他、大阪警察病院看護師等すべて大阪警察病院職員（女性のみ）なので安心です。



Q&A

専門学校にホームルームあるの？

A はい、あります。看護の仕事は、医療活動を支えるメンバー間のチームワークがとても大切。ホームルームにより主体的にクラス運営をすることで、その感覚を養います。もちろん夢を同じくするクラスメートたちと友情を深めるチャンスにも。

学生寮はありますか？

A 女子学生寮が学校と隣接してあります。全26室は、すべてワンルームマンションタイプの個室です。家賃は、月額30,000円（共益費含む）。自炊・光熱費は別。

よくあるご質問

皆さんから寄せられるご質問にお答えします！

国家試験のこと

A 専門的知識や技術や態度を学内や臨床の場で学び、卒業要件を満たすと3年次の2月に行われる看護師国家試験を受験することができます。看護師国家試験に合格して、はじめてナースの資格を得ることができます。

実習ガイダンス現場での実習って、不安がいっぱい…

A 大丈夫。はじめての実習も、様々な臨地実習も、その目的や目標をきちんと理解して、スムーズにのぞめるようなガイダンスを用意。実習指導者の的確なアドバイスや綿密な計画のもと、現場でみっちり実力を養えます。



休みはどのようになっていますか？

A 学年によって異なりますが概ね、春休み（約2週間）、夏休み（約4週間）、冬休み（約2週間）となっています。



授業時間はどのようになっていますか？

A 1時間目は9:00から始まり、4時間目は16:20に終わります。（昼休憩1時間）（月～金曜日）希望者は18:00まで学校内の施設を利用することができます。ただし、学習進捗計画において必要な場合、土曜日を登校日とする場合があります。（例えば、科目および模擬試験・実習関連・災害時の代替授業など）日曜・祝祭日は原則として休校ですが、学校行事を行う場合もあります。

奨学金制度はありますか？

A 日本学生支援機構の公的な奨学金制度の利用のほかに大阪警察病院の奨学金制度等も利用できます。

主な奨学金

日本学生支援機構奨学金

<https://www.jasso.go.jp>

大阪警察病院奨学金 大阪警察病院奨学金貸与規程にもとづき、希望者の中から選考の上 月額30,000円を3年間貸与します。この奨学金には、全額が返還免除される制度があります。

大阪警察病院修学金 大阪警察病院修学金貸付規程にもとづき、希望者全員に月額10,000円～30,000円で希望の期間貸付します。（返還の義務あり）



過去の問題集はありますか？

A 過去3年分の推薦、一般の問題を、ホームページ>“看護師を志すみなさまへ”>“受験生の方へ”にある“過去問”のボタンをクリックして開いたページから、無料でダウンロードできます。



卒業後の進路は？

A 大阪警察病院グループにほとんど就職していますが、実習施設など他の病院へも就職しています。助産師学校・保健師学校への進学や看護系大学へ編入することもできます。

